

リハビリテーション科の紹介



はじめまして！明理会中央総合病院リハビリテーション科です。当院は地域中核を担う急性期病院です。

当科は若手スタッフが多く在籍し、活気に溢れており、従来の考えに固執することなく、スタッフの興味に応じて様々な分野に挑戦しやすい職場環境を目指しています。また、患者様本位のリハビリテーションを実現するために、院内外を問わず、様々な職種の方と積極的にコミュニケーションをとることを科として推奨しています。

療法士として一緒に成長しながら、地域社会への貢献をしませんか？

平成29年4月
現在

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

助手

スタッフ数

38名

7名

6名

1名

施設基準

- ・運動器リハビリテーション I
- ・脳血管リハビリテーション I
- ・呼吸器リハビリテーション I
- ・心大血管リハビリテーション I
- ・がん患者リハビリテーション

その他の資格保持者

呼吸療法認定士	6名
心臓リハビリテーション指導士	1名
介護支援専門員	1名
健康咀嚼認定士	1名

作業療法部門

身体機能への関わり

筋力・関節の動きや感覚機能などの改善・維持に対して、作業活動を通じた介入をします。実際の生活においてスムーズ・安全に行うことができるか評価し、必要に応じて装具の作成やホームプログラムの提案を行います。



日常生活活動への関わり

食事・更衣・排泄や買い物・家事などの動作について評価を行い、その方にあった動作指導や環境整備を実施します。また、自助具（目的の動作を容易にするため工夫の施された道具）の検討・作成を行います。



高次脳機能障害への関わり

実際の生活に必要な物品の認知や操作、周囲環境の認識や判断、物事の記憶、計算、動作の手順や方法を決定し遂行していくなどの能力を評価し、治療・指導を行います。



職業復帰への関わり

職業への復帰に向け、身体機能・作業能力・一般能力（学習能力、注意力、問題解決能力など）、移動、コミュニケーション能力などの評価・訓練を行います。

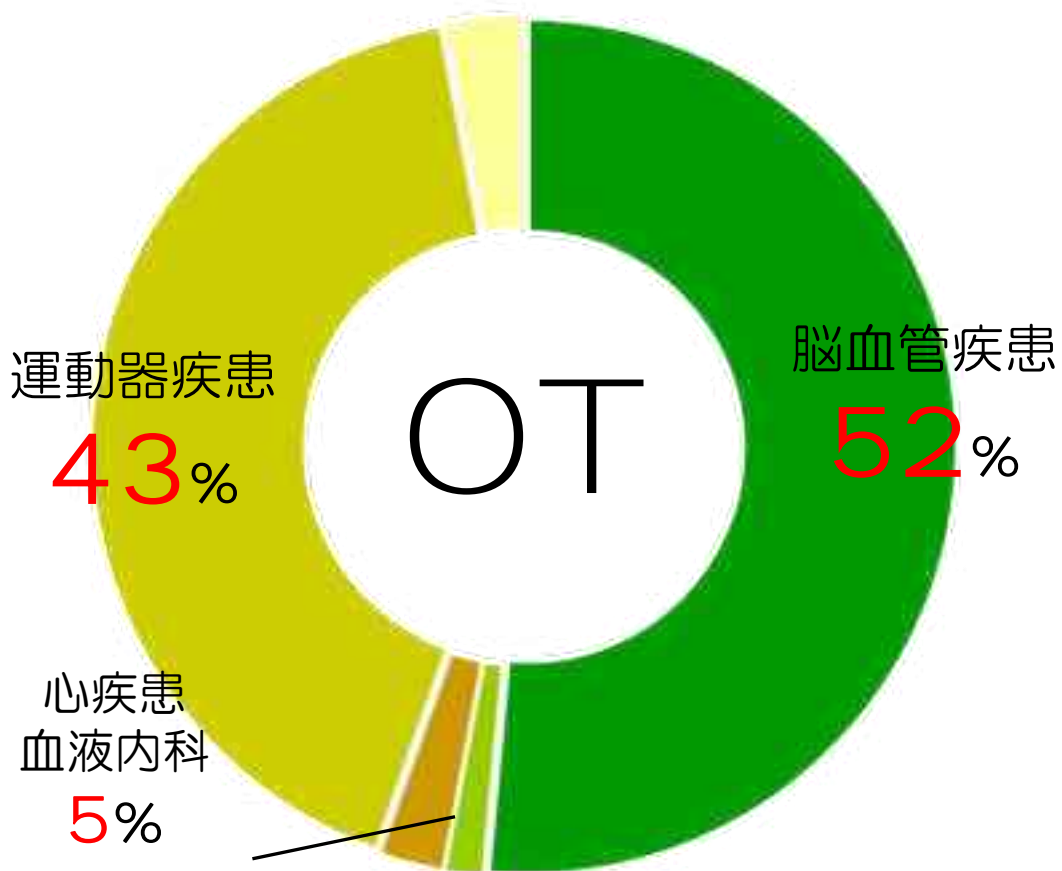


職種別・診療科別介入内訳（平成28年度）

東京都北区は東京23区内で最も高齡化率が高く、
当院はその地域中核を担う急性期の総合病院です。

対象となる方は、多様な基礎疾患を有する場合が多く、
療法士は**総合的に“みる”力**が求められます。

近年の心疾患・がん疾患の増加により、
当該診療科からの依頼が増えていることが特徴です。
このような方へ発症直後から積極的に関わることで、
廃用症候群の発症を防ぎ、他職種と連携して、
治療の充実と**安心・安全な地域への復帰**を目指しています



専門性を活かした活動

Nutrition Support Team (栄養サポートチーム)

Swallow Support Team (嚥下サポートチーム)



当院では、栄養障害の早期発見と栄養療法の早期開始、合併症の予防を目的として、NSTが活動をしています。また、高齢者の多い北区という地域特性から、摂食嚥下機能を重要視しており、誤嚥・窒息対策としてSSTが活動しています。

Respiratory Support Team (人工呼吸器サポートチーム)



“人工呼吸器を装着している患者様が早期に人工呼吸器を外せるよう、医療スタッフをサポートするチーム”（RST）が、2010年より活動しています。他職種で構成されるRSTメンバーが、対象患者様のベッドサイドへ訪問して、人工呼吸器管理の環境整備、原疾患治療・ケアへの助言などの支援を行っています。

専門性を活かした活動

褥創対策チーム



リハビリテーション科の褥瘡対策チームでは、“予防”に力を入れた活動をしています。私達が得意とする、姿勢・栄養評価に基づいて、回診に参加することで、より快適な入院生活の提供、円滑な退院の役に立つことができると考えています。

公開医療講座



“地域社会への貢献”をテーマとして、リハビリテーションに関する知識と理解を深め、自身の健康維持へ繋げていただくことを目的としています。

また、講師となるスタッフにおいては興味のある分野を深く学習する良いきっかけになると考えています。運動器疾患や内部疾患をはじめ、認知症など最近のトピックを取り入れ、専門家としての強み作りに役立たせます。

リハビリテーション科教育体制

チーム × **病院** × **IMSグループ**

チームで！

チーム全員での指導を前提として、新人の方の指導にプリセプターシップを採用し、各個人の習熟度にあわせた指導を行い、各分野のスペシャリスト育成を目指しています。

担当患者数は段階的に増やしていき、9月には約9名を担当します。
リハ科内勉強会の一例：事例検討会、心リハ、褥創、リハ栄養など

病院で！

～院内勉強会のテーマ一例～

医療安全、感染対策、NST、RST、BLSなど

～当科主催の勉強会～

移乗、ポジショニング、嚥下、体位ドレナージなど



IMSグループで！

リハビリ部門ページはコチラ⇒



～職種合同研修～

新人合同研修、管理者育成研修、新人フォローアップ研修、
地域別新人事例検討会、IMSリハビリテーション学会

～職種別技術研修会～

PT：テーピング・コンディショニング、心リハ、基本動作・歩行

OT：自動車運動技能評価講習、実習指導者研修

生活行為向上マネジメント事例報告会

ST：他施設見学会

～キャリアデザイン～

「ゆくゆくは生活期領域で活躍したい！」という方へ
当院に入職した後、グループの病院での業務研修など応援します！

スタッフの声

OT6年目



私は以前、グループ内の脳神経外科病院に勤務しておりました。広く知識を深めたいと考え、当院への異動を希望しました。NST、RSTなどの活動が盛んであり、OTが心臓リハやがんリハへ関わっていることも当院の魅力です。私は将来、老年期リハビリテーション領域に携わりたいと考えています。そのため、多くの視点を持って患者様に対応していけるよう日々努力していきたいです。

学会発表実績

平成26年度

第4回がんのリハビリテーション研究会	「白質脳症による歩行障害を呈した患者に対して理学療法を施行した一例」
第3回IMSリハ学会	「アライメント改善から運動失調改善を図った症例 ～右小脳梗塞疾患に対して～」
第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会	「MRIとVF画像より予後予測をたて、 重度嚥下障がい改善した延髄梗塞の一症例」
第37回日本呼吸療法医学会学術集会	「重症肺炎と心不全で長期人工呼吸器管理の離脱に際して リハビリテーションとハイフローシステムが有用であったと考える1症例」
第37回日本呼吸療法医学会学術集会	「RSTの認知度から今後の活動を考える」

平成27年度

第4回IMSリハ学会	「立位で左右の荷重量に応じた姿勢の反応～頭頸部の姿勢戦略に着目して～」
第4回IMSリハ学会	「当院訪問サービスを利用された癌患者のサービス導入前後の栄養状態と ADLの変化に関する検討」
第4回IMSリハ学会	「リハビリテーション科スタッフのリハビリテーション栄養に対する意識調査 ～前回調査からの意識変化～」
第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会	「急性期から在宅復帰患者における、再入院リスクの要因についての検討」
第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会	「当院訪問サービスを利用している癌患者の訪問サービス導入前と 再入院時の栄養状態の変化に関する検討」
第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会	「リハビリテーション科スタッフのリハビリテーション栄養に対する意識調査 ～前回調査からの意識変化～」

平成28年度

第51回日本理学療法学会学術大会	「肺癌化学療法患者の日常生活動作レベル変化と栄養状態」
第35回関東甲信越ブロックPT学会	「頸椎の姿勢変化が頸椎周囲筋に及ぼす影響 ～肩甲骨と下顎に着目して～」
第5回IMSリハ学会	「予防的栄養管理が化学療法中の有害事象の発現に与える影響」
第5回IMSリハ学会	「咀嚼位置とバランス能力の関係」



病院見学のご案内

1) 見学をご希望の方は

当院 **03-5902-1199** (就職担当) へ
ご連絡ください！ その際に希望日時をお伝えください！

2) 見学日が決まったら

当日に『聞きたいこと』や『見たいもの』を考えてみましょう！

3) 当日の流れ (所要時間2時間程度)

はじめに

- 見学エントリーシートを記入
- その後、持参のケーシーに着替えていただきます

見学

- 当日の責任者が当院リハビリ科の概要を説明いたします
- 1～2例程度、臨床見学をしていただきます

質疑応答

- 最後に質疑応答で終了です
- 些細な事でもOKです！ 気軽に質問してくださいね♪

**お気軽に
お問合せください！**



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会

明理会中央総合病院



求 人 票 (平成 29 年 3 月 卒業生 対象)

募集内容	名 称	IMS (ｲﾏｽ)ｸﾞﾙｰﾌﾟ 明理会中央総合病院				
	所 在 地	〒114-0001 東京都北区東十条 3-2-11				
	電 話 番 号	03-5902-1199	ホームページ	http://www.ims.gr.jp/meirikaichuo/		
	募集職種・業務	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士		急性期・一部障害者病棟あり		
	業 務 内 容	リハビリテーション科業務全般 (主に入院・外来患者様へのリハビリテーション、家屋調査等)				
	院 長	金丸 峯雄		事 務 長	武政 大介	
	看 護 部 長	櫻井 伸治		技 士 長	佐藤 清登	
勤務条件	基 本 給	¥199,400-		勤 務 時 間	全日 8:30~17:30	
	住 宅 手 当	¥15,000-		(基本時間)		
	調 整 手 当	¥4,000-		休 日	公休 8~10 日/月 年間 109 日	
	業 務 手 当	¥10,000-		(基本)		
	理 療 手 当	¥7,000-		休 暇	有給休暇 (初年度 10 日) 特別休暇 (慶弔・産休・育休等)	
	合 計	¥235,400-				
	昇 給	年 1 回 (4 月)		交 通 費	全額支給 (6 か月分定期代換算)	
	賞 与	年 2 回 (7 月・12 月) 昨年度実績 年間 約 3.7 ヶ月 (2 年目以降職員)				
	社 会 保 険	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険他加入				
法人概要	代 表 者 名	理事長 中村 哲也	設 立	昭和 31 年 3 月	総 職 員 数	約 19,355 名
	所 在 地	〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-3-2 Tel 03-3965-5977 (直通) FAX 03-3965-5991				
	ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.ims.gr.jp/ (グループのホームページになります)				
説明会・採用試験	施 設 見 学	随時：申込先 03-5902-1050 (総務課・採用担当)				
	IMS グループ 合 同 説 明 会	相談会：3/5(日)、3/6(月) 9:00~11:30、12:00~14:00 池袋ロイヤルクリニック 9F 会議室 参加希望の方は IMS グループホームページよりお申込みください。				
	応 募 書 類	履歴書 (写真貼付)・卒業見込証明書・成績証明書・健康診断書・配属希望書				
	書 類 送 付 先	IMS グループ本部事務局 人事部宛				
	採 用 試 験	詳細な日程は IMS グループホームページにてご確認ください。				
	試 験 内 容	書類選考・筆記試験・適性試験・面接試験				
	問 い 合 わ せ 先	IMS グループ本部事務局 人事部 Tel 03-3965-5977 E-mail saiyo@ims.gr.jp				
付記	1. 採用試験エントリーの方は施設見学をお願い致します。					
	2. グループ内の募集病院については 本部事務局 人事部 採用担当 までお尋ねください。					
	3. 履歴書・配属希望書は IMS グループホームページから印刷可能です。 印刷できない方は 本部事務局 人事部 採用担当までお問い合わせください。郵送致します。 ※配属希望書に記載された病院・施設への赴任 (配属) となります。					
	4. 入職後 6 ヶ月間は試用期間となります。					